

## 業務の実施方針及び配置イメージ図等

**1 豊富な実績に基づき市民生活に貢献する施設を実現**

- ・私たちは、設計共同体として株久米設計と(株)アトリエブンクが連携し、道内はじめ全国の市町村庁舎や子育て支援施設の設計実績から得た有用な知見と組織総合力を生かし、市民生活の充実と安心・安全に貢献する施設を実現することで、この庁舎建設設計画を成功に導きます。
- ・市民参加によるワークショップ開催を提案し、皆様から寄せられた貴重なご意見や、北広島市新庁舎建設基本計画、設計条件等を十分に理解し、様々な視点から新庁舎のあり方について検討を重ねて参ります。

**2 確実なスケジュール管理**

- ・議会承認スケジュールや市民参加に配慮したステージ毎のスケジュールを組立て、これを確実に管理して短期間で業務を遂行します。

**3 総合力と機動力、専門力ある取組体制**

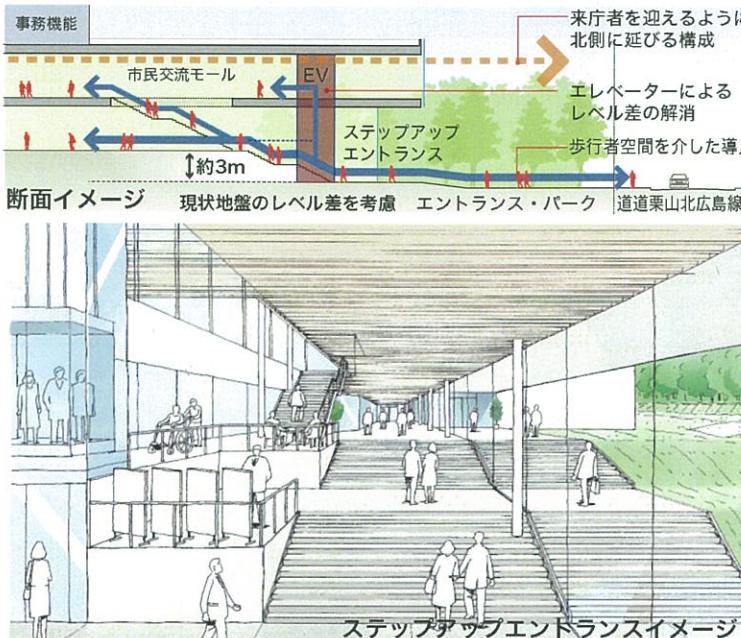
- ・庁舎設計実績の豊富な管理技術者を中心として、庁舎設計経験のある建築主任技術者をはじめ、子育て支援施設にも実績を持つメンバーでチームを編成します。
- ・これに地域性や寒冷地の気候風土を熟知したインハウス(JVに所属)の構造・設備等の各主任技術者が綿密に連携することによりフットワークの良い体制を構築します。
- ・関係者の皆様との円滑な協議・コミュニケーションを図るため、チーム内に連絡調整機能を有する「総合調整室」を設置します。
- ・数々の環境配慮型建築の設計や維持保全計画に携った設備主任技術者が、北広島の地域性に合った質の高い環境建築を提案します。



“市民交流モール”が活動を促し、人・緑・地域をつなぐ庁舎を実現します。

## 9 敷地レベル差を有効活用した建物配置

- ・敷地の高低差を十分理解の上、無駄な造成工事をなくします。
  - ・市庁舎1階レベルは、前面道路から約3mの位置に設定、レベル差は建物内でエレベーターと階段により解消する計画とします。



## 10 市庁舎と保健センター・子育て支援センターを結ぶ市民交流モール

- ・新庁舎と保健センター・子育て支援センターの併設は、健康長寿社会における多様な世代の交流が生まれる契機となります。
  - ・利用時間帯や施設機能が異なるこれらの機能の独立性と連携を保ちつつ、「市民交流モール」で繋ぐ施設構成とします。
  - ・市民交流モールは、会議室や市民ギャラリー、カフェや売店、市民協働スペース、多目的スペース等を配置し、これまで中央会館で行われていたサークル活動はもちろん多様な市民活動と交流と促す空間とします。
  - ・市民の利便性に考慮し、利用頻度の高い窓口機能は低層部に集約配置します。

